

EHIME ROUSAI HOSPITAL KANGOBU NEWS NURSE LETTER Month 9



看護研究 個別指導

プロフィール 愛媛大学医学部看護学科教授 西嶋真理子



1993年 愛媛大学文学部卒業
 1999年 広島大学(医学系研究科) 修士課程修了
 2003年 広島大学(医学系研究科) 保健学専攻 博士課程修了
 2005年 愛媛大学医学部看護学科

南5病棟 藤田寿美代

看護学分野においては、看護研究の必要性が更に重要視されています。今回既に作成されている看護研究計画書について、西嶋真理子先生より個別指導を受ける機会を得ました。研究の基本に沿い、その目的や方法が信頼性を高め妥当な方向性を示しているのか、また倫理的側面から問題はないか、分析方法はこれでいいのか等、多くのことを学ぶことができました。当院では数年前から外部講師の指導の下、研究レベルも上がり、院外での学会発表の数も増え、前向きに取り組んで行こうとする傾向が強くなっています。この貴重な指導を活かし、これから研究を進めていきたいと思ひます。



アロマセラピー

日本アロマ環境協会(AEAJ)アロマセラピーアドバイザーにICUの加地さん・山本さん・星川さんの3名が認定されました。(＃^。^＃)アロマセラピーとは、植物から抽出した100%天然の芳香物質である精油を用いて、ホリスティックな観点から心身の健康増進に役立てる自然療法です。アロマセラピーは様々な分野に広がり、医療にも広く取り入れられてきています。その効果と精油の知識をもって、生活に大きな広がりとお深さを与えてくれるアロマセラピーを、これから少しずつ紹介していきますね。

つぶやき

SEP.2007

一度勇気をふりしぼってみたら、

学会特集

母性看護 北4病棟 佐藤美香

7/26・27の2日間、群馬県で開催された母性学会に参加しました。初日は私達が昨年度取り組んだ研究(現在の保健指導の評価を得ると共に、母親及びその支援者に対する今後の関わりについて)を発表してきました。近年、少子化や医師不足などお産を取り巻く状況は優しいものではありません。助産師はその時代に応じて妊産婦を支援する方法を常に模索し、取り組んでいかなければならないことを改めて実感しました。今回学んだことを更に現場で活かしていけるよう頑張っていきたいと思ひます。



看護教育 手術室 宮本佳代師長補佐

猛暑にうな垂れながら8月、千葉・幕張メッセで行われた「看護教育学会」に参加しました。今回『看護の未来を担う看護教育』をメインテーマに掲げ、特別講演はあのDSの脳トレで有名な川島隆太先生の「専門職としての脳の鍛え方～創造的思考を育てるために～」でした。脳のさまざまな領域を強制的に動作させる使命を出すことによって、創造的思考力を強化できるといわれていました。また新人指導、中堅看護師の育成方法、職場適応状況の把握などの発表が行なわれました。学会に参加し思ったことは、当院の現行教育システムは全国でもトップレベルにあるということです。クリニカルラダー各コースの研修は、最近の動向を見据えたものであり、よく考えられた内容であることを再認識しました。ですからみなさん、主体的に研修に参加して個々の能力を更に高めてみてください。きっと素晴らしい看護師への階段を着実に上っていきけると思ひます。

成人看護Ⅱ 北7病棟 飯尾玲香

8月28・29日に福井市で看護学会がありました。「よりよく生きる力を支える看護」をメインテーマとして、318題の発表がありました。また基調講演では、淀川キリスト病院のがん看護専門看護師による「その人らしくあること—価値と自律を支える—」を聴いてきました。ホスピスという特殊性もありますが、患者とどう向き合えばよいか学べたと思ひます。そして今回は病棟で取り組んだ「口腔ケアの充実にむけて～口腔アセスメントシートを使用して～」をテーマに示説発表を行なってきました。多くの人が見に来てくれ、質問も沢山受けました。他施設に比べてNST口腔ケアチームの介入が上手く行なえていることを実感し、少し鼻が高かったです。

